

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	科学技術・イノベーション基本計画に係る調査等			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者			
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(統合戦略担当)	樋本 諭			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第7号 科学技術・イノベーション基本法第12条第1項			関係する計画、通知等	第5期科学技術基本計画(平成28年1月22日閣議決定) 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2021年度から開始される科学技術・イノベーション基本計画(以下「第6期計画」という。)の策定・実施にあたり、諸外国における科学技術・イノベーション政策の動向や我が国の強み・弱み等の調査を行い、世界に先駆けたSociety 5.0の実現等を目指す第6期計画をより実効性のあるものにするを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	第6期計画の実行性を高めるため、その進捗状況の把握や年次計画の策定に資する調査等を行うとともに、第6期計画の遂行に向けた機運醸成・PR・フィードバックを目的としたシンポジウム等を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	77.5	77.5	117.1		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	2	-	-		
		計	0	0	79.5	77.5	117.1		
		執行額	0	0	79				
		執行率(%)	-	-	99%				
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	102%				
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	科学技術基礎調査等委託費	77.5	117.1	第6期計画において、指標を用いた進捗状況の把握、評価を継続的に実施することとなり、このため計画遂行に必要な調査分析項目が増えることから増額を行う。					
	計	77.5	117.1	新たな成長推進枠:47.4					
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績				
		本事業は第6期計画の実施や年次計画の策定の参考となる定量的・定性的データについての調査を行うほか、シンポジウム等を開催するものであり、当該計画の実効性を高めることを目的としていることから、定量的な目標を設定することはできない。			第6期計画の実施や年次計画の策定プロセスにおいて、本事業による調査結果が活用されること、また、シンポジウム等の開催を通じ、科学技術・イノベーション政策に対する社会の関心が高まるとともに、我が国の第6期計画の理念が強く伝わることを目標とする。なお、平成29年度～令和元年度は未実施。				
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
	第6期計画の実施や年次計画の策定において、本事業の成果を活用すること。	第6期計画の実施や年次計画の策定において、本事業の成果が活用されること。	実績	回	-	-	1	-	-
			目標値	回	-	-	1	-	-
			達成度	%	-	-	100	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込
	第6期計画の実施に向けた調査報告書を取りまとめること。	活動実績	回	-	-	2	1	1	
		当初見込み	回	-	-	1	1	1	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込
	第6期計画に係るシンポジウム等を開催すること。	活動実績	回	-	-	17	-	-	
		当初見込み	回	-	-	1	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	調査委託費/調査報告書件数	単位当たりコスト			-	-	38.5	77	
		計算式	経費/件数		-	-	77百万円/2件	77百万円/1件	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	調査委託費/シンポジウム等開催件数	単位当たりコスト			-	-	15.4	77	
		計算式	経費/件数		-	-	77百万円/5件	77百万円/1件	

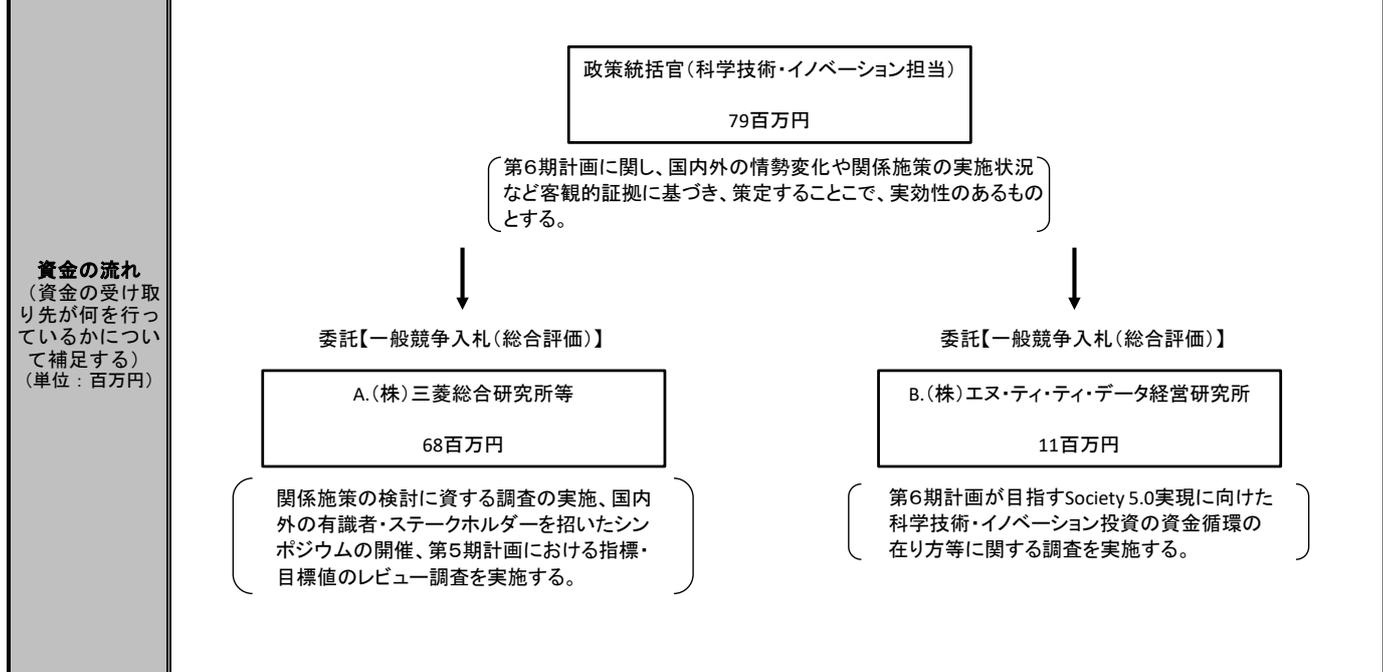
事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は科学技術が国民の生活に不可欠であることを踏まえ、第6期計画期間における政策に資すること等を目的としており、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	内閣府は、内閣府設置法において科学技術・イノベーションの総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策に関する事項について総合調整を図ることとなっていることから、本事業は国が実施すべきである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	客観的根拠や国際的な状況変化を踏まえ、我が国の科学技術・イノベーション政策をより実効性のあるものとするためには、第6期計画の策定にあたり、関連施策を抜本的に見直す必要があることに鑑み、本事業は我が国が世界に先駆けてSociety 5.0を実現させるためにも優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争契約(総合評価方式)により委託先を決定しているため、価格及び技術面の競争性が確保され、適正な手続きをとっており、支出先の選定は妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争契約(総合評価方式)により委託先を決定しているため、価格及び技術面の競争性が確保され、適正な手続きをとっており、経費の効率化に努めていることから、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	真に必要な項目に絞って調査を行っていることから、限定されているといえる。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	第6期計画の策定・実施に資する調査等の実施を定性的な成果目標とし、その結果を調査報告書として取りまとめていることから、成果実績は成果目標に見合ったものといえる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	調査結果を第6期計画の策定・実施に活用していることから見込みに見合ったものといえる。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	取りまとめられた報告書を第6期計画の策定・実施において活用した。
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 競争性の確保、適正なコスト水準の確保に努めているが、専門性が高い、また、特殊性が強い内容であるせいか、一者応札となってしまっている。 事業の実施にあたっては、事前の業務計画による確認、また、事業開始後の定例化した打合せを通じて検討方法やスケジュール管理について受託者と調整し、低コストかつ効果的な実施に努めている。 	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 一者応札の回避に向け業務内容及び作業量をイメージし易いよう仕様書の記述を工夫する。 事業実施に当たり、引き続き低コストかつ効果的な実施に努める。 	
外部有識者の所見			
二件の一般競争入札は、いずれも一社応札である。事業内容からは、複数社の応札も見込まれるところ、一社応札になったのは、入札案件の公示方法に問題があったようにも思われることから、説明を願いたい。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	有識者の所見を踏まえ、一者応札の現状について、参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和等を検証し説明すること。引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めるべき。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めることとする。		
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 報告書は以下HPで公表 https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html シンポジウム等の開催情報は以下HPで公表 https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/caravan2020.html 			

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和2年度 内閣府 - 新02 - 0011

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)三菱総合研究所			B.(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	調査研究(4名)	24.9	人件費	調査研究(9名)	8.8	
その他の経費	雑役務費、印刷製本費等	14.8	その他の経費	雑役務費等	1.2	
一般管理費	一般管理費(上記合計の15%)	6	一般管理費	一般管理費(上記合計の10%)	1	
計		45.6	計		11	

支出先上位10者リスト

A.

順位	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)三菱総合研究所	6010001030403	第6期科学技術基本計画に関する調査・分析等の委託(第6期基本計画の策定等に関する調査等)	45.6	一般競争契約(総合評価)	1		落札率については、予定価格が推測されるため非公表。
2	(公)未来工学研究所	4010605000134	第6期科学技術基本計画に関する調査・分析等の委託(海外動向等に関する調査等)	22.2	一般競争契約(総合評価)	1		落札率については、予定価格が推測されるため非公表。

B

順位	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	1010001143390	Society 5.0実現に向けた科学技術投資の資金循環等に関する調査	11	一般競争契約(総合評価)	4		落札率については、予定価格が推測されるため非公表。